

スタートアップ事業の立ち上げ支援 および新規事業を担う人材の育成

背景: 原子力事業が長期的に先細りする中、新たな収益の柱となる事業の持続的創出・育成が必要とされた。

課題1: スタートアップ事業「農業ビジネス」の立ち上げ支援を行った。

課題2: 新規事業を担う人材育成のためのワークショップ・トレーニングを実施した。

取り組み内容

Step 1 現状把握 **農業ビジネス:** 農家、店舗（道の駅）回り、プロジェクト関係者へのヒアリング実施。

人材育成: 過去の研修状況確認、選抜メンバーのプロフィール把握。

Step 2 課題分析 **農業ビジネス:** 農産物の販売中心、複数の流通ルート経由のビジネスであったため、収益性を検討。

人材育成: アイデアの創出方法、ビジネスモデルおよび事業計画の作成方法を検討。

Step 3 解決案の検討 **農業ビジネス:** ビジネスを農産物から付加価値のある加工食品中心にシフトし、販売チャネルも販売店への直販もしくはネット販売に移行して、収益性を高める。

人材育成: 過去の講師経験を活かし、参加者に合った研修コースを開発し、提供した。

Step 4 実施・結果 **農業ビジネス:** 新たな加工食品（カレー、ピクルス、漬物、菓子類、調味料、焼酎など）を企画開発し、年内には15商品へ展開予定。

人材育成: 全8回にわたる「新規事業立ち上げ」コースを開講し、経営陣に対し、チーム別に事業構想案の発表を実施。非常に高い評価を得て、次年度以降の継続が決定された。

受入企業

FTEC株式会社

取締役会長 山上 誠郎 さん

1990年3月設立。福井県敦賀市に本社を置く従業員235名の総合プラントサポート企業である。

主な業務内容は、高速増殖炉「もんじゅ」をはじめとする原子力施設に対して、①プラントメンテナンス（保守点検及び補修）、②技術者派遣（土木・建設工事の施工及び管理）、③研究開発等の事業を展開している。

協力研究員

木下 雄介 さん

兵庫県出身。1986年に慶應義塾大学卒業後、日本アイ・ビー・エム（株）に入社。シリコンバレーのメガベンチャー3社を経て、米国サクセスファクターズ社に入社。日本法人を設立し、代表取締役社長に就任。その後、日本オラクル㈱等の要職を経て、独立。現在は、中堅企業へのコンサルティングを行う一方、ビジネススクールにて後進の育成に努めている。



ふくい企業価値共創ラボ 事例

CASE:

柱となる事業の
持続的な創出と
人材育成